

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2409 第12回例会 2015. 9. 24 曇

会場:いち川旅館2F

点 鐘 : 榎本守男 副会長
進 行 : 山田昌雄 副 SAA
ソング : 我等の生業
お客様 : 大貫中学校校長 川名 泰 様
富津市教育委員 榎本純子 様

会長挨拶

榎本守男 副会長



こんにちは、千葉会長がお休みの為、会長代行を務めさせて戴きます。千葉会長には次年度に備えて練習の機会を与えて頂いたものと感謝しております。私が会長を務めたのは創立25周年にあたる石渡会長年度の翌年1992～1993年でした。その時以来ですので、実に24年ぶりの点鐘でした。

本日のお客様の紹介をさせて戴きます。富津市教育委員の榎本さんと本日ゲストスピーカーとしてお招きしました大貫中学校の川名校長です。お忙しい中ご出席いただき有難うございます。よろしくお

願います。

9月19日、岩根潮の香園の竣工開所式に千葉会長をはじめ当クラブのバンド、フラダンスのメンバーが参加しました。社会奉仕活動の一環として、お祝いの席に花を添えることが出来ました。緊張感のある演奏及びダンスで今まで以上のパフォーマンスだったと思います。メンバーの皆さんにはお忙しい中での練習、前日の準備、そして当日の朝からの待機と本番、貴重な時間を割いていただき、感謝申し上げます。

私ごとですが、昨日、大学の同窓祭があり初めて行ってきました。OB、OG が集まり大変な賑わいでした。学食でランチ、銀杏並木の模擬店でコーヒー、ライブは同年齢位のOB、OG デュエットの懐かしいギター弾き語り、思い出の中にどっぷり浸ってきました。古い校舎を眺めると教室で受講した頃の事を思い出し無性に勉強したくなりました。あの頃こんな気持ちを持っていたらと思っても後の祭りです。今度、機会があれば一番興味があつて勉強したマネージメントの卓話をしたいと思います。今日は時間がないので予告編です。

あらゆる業種のあらゆる職種、諸団体の運営、学校、機関、3人以上の組織にはマネージメントが不可欠です。マネージメントとは、組織として効率的に成果を上げるための道具です。人を動かす。人に感動を与える。理念を明確化する。ロータリーにお

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



ける管理運営はマネージメントそのものです。こんなテーマを解かりやすく面白く話してみたいと思います。ご期待ください。

幹事報告

高橋裕之 幹事



1. 大原RCより役員変更の案内7月9日付
会長 吉田正子 様 幹事 平野一隆 様
2. 財団室ニュース9月号訂正版受領(回覧)

委員会報告

友情出演の御礼

山田昌雄 会員



いわね潮の香園の竣工開所式に当楽団並びに女子会の友情出演を頂き心より御礼申し上げます。会場の声を聞くと「生バンドとダンスの迫力にびっくりした」そうです。

皆様方の日ごろの精進に頭が下がります。9月27日は、吉野社会福祉協議会の「ふれあいの集い」に参加していただけるようで楽しみにしています。これからもよろしく願いいたします。



コスモス

報告

小野恒靖 親睦担当部長



10月29日は米山梅吉記念館と併せて世界遺産の「美保の松原」等を見学する日帰り旅行です。出来るだけ多くの方に参加をお願いします。

次期ガバナー補佐会議が26日に成田日航ホテルで開催されます。

卓話

卓話者紹介

富津市教育委員 榎本純子 様



皆さん、こんにちは。いつも主人がお世話になっています。今日は教育の事情についての卓話をとということでお招きいただきました。

私も教育委員として3年がたちましたが、教育というのは奥が深く、また、教育委員会に上程される議案は専門的な事柄も多く、継続性も求められるということもありまして、追いつくので精一杯というのが私の現状です。

そこで、今日は教育のスペシャリストでいらっしゃいます川名校長に卓話をお願いいたしました。川名先生は去年の4月に大貫中学校に校長として赴任されましたが、その前は教育委員会の教育部次長として、教育行政を主導されてきた方です。ですから、この街の子どもたちの事も、学校を取り巻く教育環境についても、大変良くご存知です。

皆さんもご周知のとおり、今、富津市では財政再建を進める為にいろんな予算に切り込んでいます。もちろん、教育予算も例外ではなく削減されています。その削られた予算をカバーすべく先生方は知恵を絞っていらっしゃると思いますが、そんな先生方の思いや子どもたちの今を川名校長先生の感じられるままにお話しただければとおもいます。それでは、川名校長、よろしく願いいたします。

職員が夢を持つ学校創りを目指して

大貫中学校校長 川名 泰 様



私は生まれも育ちも天神山です。

大貫中学校で教職の道を歩み始め、保護者・地域の皆様にまさに見守られ育まれた私は、縁あって西大和田に居を構え、早30年あまりが過ぎようとしております。こうして、再び大貫中学校に勤務できることに感謝するとともに、この歴史と伝統を誇る大貫中学校の更なる発展に微力ながら努めてまいりたいと思っております。

さて、私たち市町村立小中学校職員のことを「県費負担教職員」と申します。

任命権等は千葉県、サービスの監督は市町村にあり、ちょっと複雑な身分の私たちです。私たちの一日の勤務は7時間45分、休憩は45分です。本校は8時出勤ですから4時30分までの勤務であり、結構早めに帰宅できることとなっています。これだけでは教職員の概要さえも理解してもらえませんね。

そこで、こんな教職員・学校が抱える諸問題、課題について触れてみます。最初に生徒のことに関することです。

学校を欠席することが多い、いわゆる長欠・不登校問題は、市内全体では10数年前より確実に減少していますが、本校にとりましては決して見過ごすこ

とのできない重要な課題となっています。友人関係や家庭環境、自身の個性、いくつかが重複することが多く複雑であり、原因が把握できないことも多々あります。スクールカウンセラーや関係諸機関との連携を一層密にする必要があります。

次に、生徒指導上のことです。特別に支援・指導を要する生徒ひとりひとは、決して威圧的であったり乱暴者ではありません。しかし、他校や他市の学校の生徒や有職無職の少年と集団化、広域化が進むと多少様子が変わってきます。その集団の構成員として守るべききまりがあるようで、虚言を弄したり、自分を正当化するために筋の通らない言い訳も増えてきます。学校の対応にも限界があり、保護者との連携が困難な場合はさらに深刻化する場合もあります。児童相談所や警察、保護司等々諸機関との連携を図っていかなければなりません。

そして、校長として本校の教育の一層の充実にあたり最も危機感を感じるのは生徒数の減少であります。教育の実施にあたり最も基本的となる生徒数、その減少は学習での意見の交換、励まし合い、競い合い、共に磨き合う機会を減少させてしまうかもしれません。また、本校ではかつての18クラスが現在は7クラスとなり、学級担任は18名から7名へと激減し、部活動を担う職員の確保にも困ることとなっています。

次に職員に関することです。

50歳代のベテラン職員の割合は50%程と言われており、中堅層の職員数は層が薄く、ベテラン層職員の大量退職は若手職員の急増となり、若手職員の力量アップが急務となっています。本校では研究主任の立案で、ベテラン職員を講師とし共に学び合う機会を持ち、実践に基づいた研修の充実に図っているところです。

また、いじめ不登校への対応強化や生徒指導上の問題への対応、特別に支援を要する生徒や個性への対応、膨大な作品募集と各種大会参加・出演依頼、諸調査や会計の複雑化等々、学校関係者でないと認識できない多くの職務が私たちを待ち受けております。さらに、休日の部活動により学校に滞在している時間が長くなってしまふ職員も多くなっております。これらの課題は、職員が本来対応できない、あるいは勤務時間内には到底対

応できないことを沢山含んでいると認識しておりますが、業務の電子化、ノー残業デーを設定し、職員の意識改革を図っております。しかし、職務の量の軽減には基本的な解決策が見当たらず、校長としては申し訳なく思うことが多いのが現状です。

このような状況下、校長として学校経営を如何に推進するかについて、手前味噌になることと思いますが話を進めてまいります。

校長の学校経営は、極めて限られた裁量の中での経営を強いられる、そんな学校現場であると認識しております。

経営の資源として「人、物、金、情報」が通常でしょうが、学校では「人、施設・設備、時間、情報」となるのではと思っております。「県費負担教職員」の人事権は県教委が握っており、施設・設備は市の予算配当内での対応であり、ともに校長の権限が及ぶはずありません。

次に時間ですが、どの教育活動に何時間を割り振るかは、市役所の予算配当にも似て、教育の方向性、重点がどこにあるかが明確になるところです。しかし、この時間も校長裁量は微々たるものです。と申しますのも、学習指導要領に各教科の学習時間が指定されており、日々6時間程度の時間が厳密に確保されているからです。

情報については、県・市教育委員会からの情報を踏まえ、各種試験の結果、アンケート、学校評議員の意見等々から学校の現状を把握し、目指すべき方向を検討します。どの情報を重く受け止め、どう対応するかは比較的校長の裁量の及ぶところと思っております。

斯くして、校長としての私が自覚した学校経営とは、配属された教職員のモラル向上が最大の課題であり、これこそ学校経営の核心に迫れるものであると認識しております。

そこで、本校は「世の為 人の為に生きる人を育む」教育をめざし、「学んで聴く、心豊かに、身体は逞しく」を学校教育目標とすることを全職員に明言しました。職員に教育の目的が意識されておらず、対外試合に勝利する、問題が解けるようになる等、目の前にぶら下がった目標の達成のみを追いかけてもらっては困ります。何のための教育かを各職員がしっかりと認識して欲しいわけです。

また、各職員にはその職員なりの取り組みたい教育活動があり、それとは別に取り組むべき教育活動があるわけです。このことをよく理解し、仕事が苦行とならないよう、私が夢を語り職員に夢を持たせ、意欲・情熱を引き出せるよう努力を積み重ねています。

大切なことは職員の和であり、職員を公平に評価し、その実績について職員に紹介します。しかし、この成果は関係職員の協力があったことであり、一人では為しえないことへの理解を求めていくことも忘れません。今後も、職員の和をどう構築していくかは最大の課題でもあります。

また、職員の家族、多くは父母に手紙をしたため写真を同封して送付しました。そこでは職員(ご子息・ご令嬢)の活躍ぶりの紹介や本校の目指す「世の為 人の為に生きる人を育む」教育への全面的協力をお願いしていること、そして努めてくれることへの期待等々を熱く語り、父母からの応援もいただき、まさに家族こそ本校教育の支援者となっていただいております。

学校行事は毎年同じ内容で開催するのではなく、創意ある教育活動へと一工夫、二工夫することにより教育活動にかける職員の情熱が生徒・地域に伝わるよう努めています。

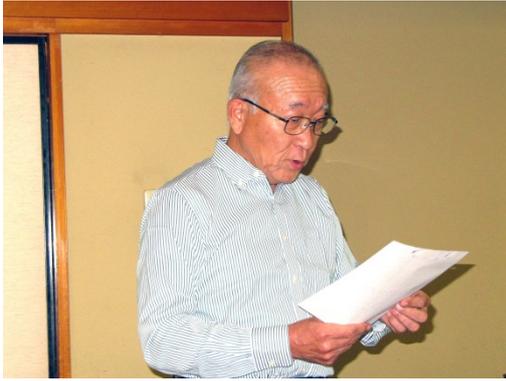
おかげさまで、平成27年度体育祭では、体育科職員の情熱により「大中ソーラン」を披露することができました。本校の新たな伝統となるように育ててまいりたいと考えています。

校長の裁量権の乏しい学校経営ではありますが、教育は人にありと申しますように、教師の力量に左右されることは明らかであり、一層の教育の充実を図る為の最大要因であることは間違いありません。それ故に、職員が夢を持つ学校創りを目指して残り少ない期間を精一杯努めてまいります。

結びに、歴史と伝統を誇る富津中央ロータリークラブ定例会において、このような機会を頂戴しましたことに感謝申し上げ、併せて貴クラブの益々のご発展をご祈念申し上げ、お話を終わらせていただきます。

ニコニコ BOX

原田雅式 親睦担当委員



* 重城明男 「いわね潮の香園」の竣工開所式には見事なバンドとダンス有難うございました。

* 山田昌雄 //

高橋裕之 川名先生をお迎えて

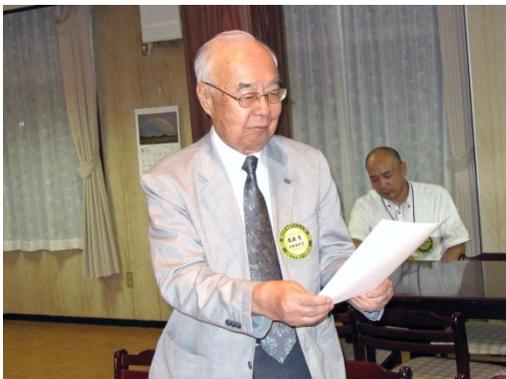
榎本守男 //

高島治雄 今回の放映を見て高齢になったことを感じました。

* > 1,000円 合計15,000円

出席報告

志波 克 出席担当部長



区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	27/26	18	6	2	76.92%
前回	27/26	22	4	1	88.46%
前々回	27/25	20	5	1	84.00%

総会員数：28名－休会1名＝27名



出席優秀者紙上表彰

管理運営委員会委員長 榎本守男

9月期100%出席者

原田 雅式	栗原 典子	須藤 隆
鈴木 勉	高橋 裕之	若鍋 武良
渡辺 昇一	渡辺 哲夫	千葉 一利
榎本 守男	石渡 鋼	小野 恒靖
大網庄一郎	志波 克	高島 治雄

9月皆出席者は15名でした。時間変更、会場変更等の厳しい条件の中で頑張ってくださいました。

なお、9月の平均出席率は85.15%でした。来月も高出席率を期待します。

編集後記

9月度4回の会報編集を担当いたしました。3回の編集は4ページを超過するボリュームを写真を小さくしたりして何とか4ページに収まるようにし、編集後記を書くスペースも確保できませんでしたが、今回は5ページ強の内容のため、4ページに収めることは叶わず、写真をふんだんに取り入れて6ページといたしました。

今回、榎本守男会員のご夫人、榎本純子様(富津市教育委員)のお取り計らいで現役の校長先生の卓話を拝聴する機会に恵まれました。

少子化と人口減等により地方の学校事情が変遷している昨今、現場の責任者である校長先生から直接、学校が抱える諸問題と、教職員のご苦勞を具体的な事例を交えて聞くことができ、これからの学校教育の難しさとそのかじ取りの重要さをあらためて認識させられました。私たちロータリーには5大奉仕の一つに青少年奉仕活動があります。今回の卓話を通じて、私たちロータリアンが青少年の健全な育成に少しでも資する奉仕活動ができればと強く感じた次第です。

(須藤 隆)

「よしのふれあいの集い」出演

9月27日に開催された「よしのふれあいの集い」に当クラブ楽団が協力出演しました。

楽団をバックに千葉会長挨拶



ご挨拶申し上げます。

ただ今ご紹介いただきました富津中央ロータリークラブの千葉と申します。本日は「ふれあいの集い」に参加させていただき有難うございます。みんな一生懸命にやろうと張り切っています。

ところでロータリークラブと申しまして何をしているクラブかお分かりにならない方が多いと思います。一言で言いますと私たちは奉仕を理想として活動しているクラブです。奉仕にもいろいろな形がありますが共通していることは愛が出発点だということです。助け合う、励まし合うなど愛から生まれたそれが奉仕活動になっています。

今日のこの会も「ふれあいの集い」即ち「愛の集い」です。愛の交流により地域が元気になり、地域が活性化されるねらいがあると思います。今からの私たちの歌とバンド演奏が皆様に対しての愛のプレゼン

会場の人々と一緒に「里の秋」「みかんの花咲く丘」合唱・演奏



トです。みんな元気になりましょう。では富津中央ロータリークラブのプレゼントをお楽しみください。

「銀座の恋の物語」歌とバンド演奏



「レット・イット・ビー」バンド演奏

